

学校法人箕面学園幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園

平成30年度自己評価結果公表シート

1.本園の教育目標・重点

『健やかな体、豊かな心を持つ子ども』

- ・幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。
- ・安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
- ・子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成31年度幼稚園型認定こども園移行に向け、不易流行を見極めた教育内容の見直しと園舎の増築・改修工事、認定申請の適正な事務手続きを重点に、幼稚園内外に開かれた幼稚園を目指した。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
在園児について全教職員がその情報を共有して保育を行う。	週3回の職員会議において、子どもの様子、状況、保護者の願いを伝え合い、課題を整理し、全教職員が情報共有・行動連携ができるよう努めた。
教育の質の向上のために、研修へ積極的に参加する。	日常の職員会議等を活用した研修のみならず、教育委員会主催の研修や民間研修団体の主催する研修会に積極的に参加。また、参加した研修会の内容・成果を、レポートにまとめ教職員間で共有を図った。また、外部講師を招いた授業研究会を学期ごとに実施し、実践的指導力向上にも努めた。
安全第一の工事の進行と円滑な園運営の両立を図る。	工事計画・内容を工事業者・法人事務所と綿密に連携をとり、適宜、保護者・教職員に示し、その理解を得ながら、無事に工事を終えることができた。園舎・教室の内装においても教職員の研修の成果と意見を反映し、新幼稚園教育要領の目指す教育観に沿った指導内容・方法の実践に資することができるよ

	うになった。
ホームページや園だよりなどを通じて、園の情報発信に努める。	毎週のお知らせ、クラスだより、毎月の園だより等で情報提供に努めている。またメール配信による警報発令時の対応を整備し、日々の連絡にも活用している。またホームページをリニューアルし、行事や日々の子どもたちの様子を公開、保護者ブログ等で、その生き生きした姿を伝えることができた。
地域との交流を図り、地域に密着した幼稚園を目指す。	隣接する箕面学園福祉保育専門学校及び箕面学園高等学校との連携が拡大・深化しつつある。 その他、箕面市・箕面市教育委員会・警察・消防等関係機関と連携した園活動・各種行事も増加。 また、幼稚園行事(運動会・わくわくフェスタ)などの情報を公開し、地域の住民の方の参加をいただいた。しかし、駐車場不足に伴う課題がある。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<p>箕面学園福祉保育専門学校と連携して幼稚園行事を行うだけでなく、子どもの姿を通じた反省会を通じて内実が深まっている。特別支援教育や子ども理解をはじめ取り組むべき課題について、全教職員が積極的に研修に参加し、共通理解を深め、実践し始めている。また、園舎も一新し、施設設備の点検・保守に加え毎月の避難訓練等により安全管理に努めている。</p>

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
幼稚園型認定こども園移行後の円滑な園運営と無償化対応	平成31年度の移行後の、園運営の見直し、教育課程の見直しを図る。またその内容の情報発信にもリニューアルしたホームページ等を活用し努める。
今にふさわしい人材確保と育成及び教育内容の創造	研修の活用と処遇改善を並行して、実践的指導力の向上と定着を図る。
園に対する保護者の満足度の向上とニーズを把握する。	私学の独自性を十分に発揮しつつ、様々な機会において保護者・地域と十分なコミュニケーションと情報発信に努める。

6. 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

平成30年度自己評価の振り返り結果

作成： 幼稚園型認定こども園箕面学園附属幼稚園
箕面学園学校評価委員会

1. 本園の教育目標

「健やかな体、豊かな心を持つ子ども」

2. めざす子ども像

挨拶ができ、ありがとう・ごめんなさいと言える子ども
何事にも挑戦し諦めない、身心ともにたくましい子ども
友だちとつながり、自分を表現できる子ども

3. 教育の重点

- ・ 幼児理解に努め、幼稚園生活を通じて、知・徳・体・聖・美のバランスのとれた心身の発達を促す。(建学の精神)
- ・ 安全・安心な環境のもと、体験活動の充実に努め、子どもの生きる力の基礎を培う。
- ・ 子ども達を真ん中に、家庭・地域・小学校等との連携に努め、豊かな育ちと学びをつなぐ。

4. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

平成31年度幼稚園型認定こども園移行に向け、不易流行を見極めた教育内容の見直しと園舎の増築・改修工事、認定申請の適正な事務手続きを重点に、幼稚園内外に開かれた幼稚園をめざした。

- 具体的には、① めざす子ども像、教育課程の見直し・再確認
② 安全第一の工事の進行と円滑な園運営の両立
③ 研修を活かした教育課程の見直し・改善と指導力の向上
④ 保護者・関係機関との連携と情報発信・説明の強化
⑤ 個に応じた指導・支援教育の取り組みの充実。

4.重点項目の達成及び取組状況

- ① 研修の成果も活かしながら、指導と評価の一体化を図り、日案・週案・月案・年間指導計画の振り返りを行い、逐一職員会議で再確認し進めた。
- ② 工事計画・内容を工事業者・法人事務所と綿密に連携を取り、適宜、保護者・職員に示し、その理解を得ながら、無事に工事を終えることができた。
- ③ 教育委員会主催並びに民間研究団体等主催の各種研修会に積極的に参加。研修成果の共有をレポートの作成・回覧及び職員会議で行い、実践的指導力の

向上に資することができた。また、外部講師をお招きした授業研究会を学期ごとに実施。週3回の職員会議で「全教職員が全園児の担任」たるべく、情報共有を図り行動連携・子ども理解に努め、必要に応じて研修会を持った。

- ④ 子どもを真ん中に、保護者・後援会・関係機関と連携協働の姿勢で臨み、後援会とは行事ごとに連携をとり、学期ごとに反省会ももち、毎月のキンダーカウンセラー事業を通じた保護者支援も実施している。

従来から、箕面市、箕面市教育委員会、就学先小学校との連携等具体的な動きと共に、箕面消防本部、箕面警察署と連携した消防訓練や防犯教室も実施。箕面学園高等学校及び箕面学園福祉保育専門学校との連携も強化された。

このような動きは、リニューアルしたホームページで常時更新し発信している。また、毎週の学級だより、お知らせ及び毎月の園便り等で保護者等に伝え理解を得るよう努めている。

- ⑤ 研修を重ねながら子ども理解にも努め、箕面市教育委員会等の指導・支援も得ながら、個に応じた指導、支援の必要な園児の教育的ニーズに応えるべく支援教育の取り組みを行った。

5. 在園児保護者からのメッセージ

・園の教育方針通常に「子どもを中心」で見守ってくれる園です。安心して任せられます。先生方も子ども達の名前をよく覚えてくれ、声をかけてくれるので、園全体で子どもを見守り育ててくれているんだと感じます。

・保育士の先生が、一人ひとりの事を考えて接して下さることがよく伝わり、子どもも自分のことは自分でしようとする気持ちが持てるようになりました。園の様子や保育中の活動内容など週1回のクラスだよりで何をしているかがよくわかり、子どもに聞くと、家で教えてくれて、一緒に楽しんでいます。アレルギー対応もしっかりして安心して預けることができます。とても温かい幼稚園で、はじめもあり通わせてよかったです。

6. 今後取り組むべき課題

- ① 今にふさわしい人材確保と育成及び教育内容の創造
- ② 幼稚園型認定こども園移行後の円滑な園運営と幼児教育無償化対応
- ③ 園活動の情報発信と教職員のライフワークバランスの確保

7. 学校関係者の評価

- ・ 幼稚園が、PDCA サイクルを機能させ、保育の質の向上に向けて継続的に取り組んでいることは大いに評価できます。
- ・ 園長以下教職員一丸となって、教育目標実現に向け努力していることは評価

できます。